

～2025年3月 議会報告～ ユネスコが提唱する「包括的性教育」

包括的性教育とは、ジェンダー平等や性の多様性、人権を尊重する観点から生殖や性交だけでなく人間関係も含めた幅広い内容を学ぶ教育です。性暴力や性被害をなくす社会をめざして、あべみさが質問しました。

※ユネスコ(国連教育科学文化機関)は、教育、科学、文化の協力と交流を通じて国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国連の専門機関。包括的性教育を重要な教育として提唱。

教育現場での推進要望!

加害者も被害者も傍観者もNO!

～立川市 性教育のこれまでの取り組み～
誰もが包括的性教育を理解し、教育現場などで積極的に推進していくことが必要です。予算特別委員会では、立川市のこれまでの性教育関連の事業と新年度の取り組みについて質問しました。この課題は多くの部署にまたがっており、さまざまな取り組みがありますが、小中学校での更なる取り組みを要望しました。皆と一緒に学習することで、共通の前提や認識が醸成され、加害者も、被害者も、傍観者も生じなくなることが期待できます。

各課の取り組み状況

男女平等参画課	アイム登録団体と連携した企画講座や、中学3年生対象の人権教育・性教育の出前講座を開催。新年度も継続。
子育て推進課	「子育てひろば」では、2024年度は助産師を講師とした指導員向け講座と保護者向け講座を実施。新年度の開催方法はこれから検討する。
保育振興担当課	保育園では主に看護師が年長の子を対象に、自分の命や体を大切にすること、プライベートゾーンをむやみに人に見せたり、触らせたりしないことなどを話す機会を設定した。
健康づくり担当課	「女性の健康週間」に合わせ中央図書館と共催するパネル展と図書展示で、2024年度は包括的性教育の図書も初紹介。新年度も継続。
生涯学習センター	2024年度は助産師をゲストティーチャーとする「いのちの授業」を支援。小学校など数校で実施された。新年度も同様の計画がある。
教育部指導課	各学校で体育科、保健体育科を中心に、各教科、他の教科領域等においても関連付けながら、学校の教育活動全体を通じ取り組んでいく。

実現! かまどベンチに 名称プレートが付きました



防災カフェでの話し合いから立川市が所有している公園内のかまどベンチ6か所を順次検証しました。2023(令和5)年6月の一般質問で「災害発生の折に使うためにもかまどベンチの存在がわかる必要がある」として看板などの設置を求め、2025年2月下旬に名称プレートが設置されました。

全国地方議員交流研修会 in 沖縄



分科会 「岐路に立つ日本の社会保障 地域ケアをどう支えるか」
講師：伊藤周平氏
(鹿児島大学教授) ↓

↑「辺野古沖で杭打ちが始まった大浦湾を背に」(2025.1.31)



立川・生活者ネットワークと市議会議員あべみさの「サポーター」を募集中!

■レポート配布サポーター 100枚から配布できる方。 ■活動資金をカンパで応援 一口2000円から

*2000円以上のご寄付の方には東京・生活者ネットワーク毎月発行の「生活者通信」を1年間贈呈いたします。

振込先 多摩信用金庫 砂川支店 (普) 0567253 阿部美砂とすずかけ会議 代表 阿部美砂